

深い敬意と心からの感謝を

平成30年度亀岡市自治振興式典



敬意と感謝を込めて、38人に表彰状・感謝状を贈りました

11月3日、本市の市政推進に尽力をいただいた人や篤志をいただいた皆さんを表彰し、感謝の意を表するとともに市政のさらなる発展を願う「亀岡市自治振興式典」を、ガレリアかめおかで開催しました。

式典は、菊花の彩りと香りに包まれる中、女声コーラス「五月会」の美しい歌声で開式。桂川市長が「市政の発展と市民福祉の向上に尽力いただいた皆様や、公德の心をお示しいただいた皆様に、亀岡市民を代表いたしまして、深い敬意と心からの感謝を申し上げます」と式辞を述べました。

平成30年度亀岡市自治振興式典表彰者(敬称略・順不同)

篤志者

石川 正昭・石川 禧子
亀岡ライオンズクラブ/宗教法人大本

市政功労者

行政分野
木村 源治/児嶋 正晴/塚田 勇
長澤 康浩/宝積 玄承/(故)山木 弘至

福祉・医療分野

片山 将宏/齊藤 比佐美/高雄 明
平岡 聡/吉田 敦/和田 誠司

文化・スポーツ分野

神先 宏彰

経済産業分野

福井 進/森 謙治

感謝状贈呈者

安詳小学校PTA/石川 清之
大井小学校PTA/大井町自治会

太田 幸代/大槻 秧司

亀岡交通安全協会/亀岡市消防団

亀岡小学校PTA/川勝 啓史

黒田 雅夫/谷性寺

さくらの会/星和電機工事株式会社

田中 久仁彦/並木 みずほ

廣瀬 泰子/三浦製材株式会社

宮前町青少年育成協議会/森 淳

た。

また、生涯学習の振興に貢献された人をたたえる「第18回生涯学習賞」の受賞者が発表され、「生涯学習ゆう・あい賞『千登美子賞』」は、弁護士として活躍しながら、男女共同参画の面で実践的モデルを提示するとともに、NPO気候ネットワーク代表として環境問題や気候の変化に関する学習の機会を多くの人に提供されている浅岡美恵さん(京都市)に贈ることになりました。

また、「生涯学習共生賞『上田正昭賞』」は、「アートを個人の深い内面からの発信ととらえ、作品を通じて様々な『個』に出会い、人間の多様性の理解へと広がるこ

とを期待する」といったコンセプトのもと、障害者をはじめ地域の人々の「共生社会」のモデルを実践する活動を展開される「みずのき美術館」(亀岡市)に贈ることになりました。

なお、「生涯学習奨励賞」は、長年、亀岡市において地域の中高齢者が自己研鑽を通じて相互に助け合う事業を展開し、地域の活性化、地域に根差した生涯学習によるまちづくりを実現される「ナルク亀岡丹の里」(亀岡市)に贈ります。

各賞贈呈式と浅岡さんの記念講演は、来年2月11日(月・祝)、第81回コレージュ・ド・カメオカ(ガレリアかめおか)で行いますので、皆さんぜひお越しください。

未来の亀岡のために

中学生議会開催

10月27日、亀岡市議会本会議場で「中学生議会」が行われました。

「中学生議会」では、市内8中学校計23人の中学生が議員となり、「中学生に市の業務内容の一端を知ってもらう



本記事取材の様子①(湊議長にインタビュー)



本記事取材の様子②(桂川市長の思いを聞く)

ことにより、地方自治への関心を高めてもらう」という目的で開催されたものです。

中学生議会では、「かめおかフォトグランプリ」という亀岡の魅力を発信する取り組みの提案や、亀岡市の定住者を増やすために行われている具体的な施策は何かという質問などさまざまなもの

があり、市長からは「具体的な取り組みを検討していきたいです」と前向きな意見がありました。

今回、中学生議会を終えて、市長と市議会議長にイ

やさしい健康講座

第130回

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の医師が、専門分野についてアドバイスをします。



亀岡市立病院 小児科部長 専門分野 小児循環器 寺町 紳二

インフルエンザの予防接種について

秋冬に話題となるのがインフルエンザの予防接種。冬の流行に備えての接種ですが、その効果についても話題になります。予防接種をすると、体の中にインフルエンザウイルスと戦う抗体が作られます。でも、その抗体は血液の中にあり、喉の粘膜表面に滲み出てくるのはごく一部です。呼吸によって吸い込まれたインフルエンザのウイルスは、熱

が出るまでに喉と鼻の合流点あたりの粘膜表面でどんどん増殖します。ところが、ここにはウイルスを退治するのに十分な抗体がありません。つまり、残念ながら今の予防接種では喉でのウイルス増殖を抑えることができません。かかるとを防ぐのは難しいです。しかし、一旦ウイルスが体内で広がり始めると、血液の中の抗体が活躍し、重症化は防げます。また、軽く終わるといことは、ウイルスをばらまく期間が短くなり量も少なくなるので、人にうつす危険性が低くなります。その結果、流行を抑えることができます。かからないためではなく、重症化しないためにみんなが予防接種をすると、結果的に個人がかかることも予防できます。予防接種はみんながうつつと大きな意味を持つのです。

後十分活かしていきたいと話されています。

参加した23人の中学生は、「安全で住みやすいまちをつくりたい」「中学生の視点で亀岡市政にしっかりと意見を述べたい」などそれぞれ強い意志を持っており、「この経験を学校に持ち帰り、よりよい学校づくり・政治への関心や参加意欲を持つことができようしっかりと伝えたいです」と思いを述べていました。この貴重な経験が、若い人が亀岡のまちづくりに関心を持つきっかけになればと思います。

※この記事は職場体験学習で市秘書広報課に来た中学生が執筆しました。